



センター通信 2017年 夏号

静岡キリスト教盲人伝道センター 2017年7月15日発行

巻頭メッセージ

『出会いを通して』

理事長 青山昭一郎

2017年7月を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

過去において共謀罪法案として国会に3回も提出されながら、いずれも廃案となった「共謀罪法案」と基本的に同じ内容である「テロ等準備罪」（略称）が国会で可決されてしまいました。内心で考えた計画自体を犯罪として罰する、人の内心に踏み込むきわめて問題の多い法案です。私たちは、いつも目を覚まして、信仰の目でよく見極めて行かなければならないと思います。

人は人生における様々な出会いを通して、成長していくものです。様々な出会いが人格を形成すると言っても過言ではないでしょう。「人は死ぬまで成長する。成長しなくなった時に死を迎える」と、三浦綾子さんが書かれていました。

パウロの出会いは、ダマスコ途上の経験にありました。パウロの信仰、伝道の原点は、それまでキリスト教徒を迫害し、敵対してきたパウロが、「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」（使徒言行録9-4）と呼びかける声を聞いたという出来事です。

パウロの回心は突然の出来事でしたが、「ローマの信徒への手紙」を読むと、彼は自分の心の奥にある罪の意識に苦しみ続け、そこからの解放を求めていることが分かります。それは、すべての人が抱えている心の闇の部分かも知れません。その心に抱えている心の闇の部分から、私たちを解放するためにイエス・キリストは来られました。だからパウロの回心も神様のご計画でしたし、私たちの回心も神様のご計画です。

パウロは、回心の後、主イエスの福音を伝道する働きに用いられました。新約聖書の多くは、このパウロの伝道旅行に関するものです。私たちも一人ひとりのキリスト者としての生き様を神様は、主イエスの福音を伝道するために、豊かに用いて下さるのではないのでしょうか。

人生における出会いは、神様が私たちのために備えてくださったものです。勿論、辛い出会いや出来ることならば避けたかった出会いもあります。それでも、いつか、いつの日か、そのことを通して強くなれた、優しくなれた自分に出会うことができるのではないのでしょうか。

その意味で出会いの背後には、神様からのメッセージがあります。信仰を持って歩む限り、その出会いはきっと成長への転換点になるでしょう。

神様を信じて生きるということは、あらゆる可能性に開かれた人生を生きることです。

神様は往々にして、私たちの思いを超えることを、私たちが思いつかないような仕方で実現されるのです。時として最悪としか思えない事柄や出来事を通して、それらを用いて、私たちが考えもしなかったような過程を通して、神様は最善のものを私たちそれぞれにお与えになる方なのです。

しかし、変わりたくても変わりえない自分がここにいます。しかし変えられたくない自分もここにいます。

神様は、神様の最も必要とされることを、私たちそれぞれに与えられます。それが私たちにとって苦しみであったとしても、耐え難い苦しみであったとしても、それが必ず良いものに変えられるのだ、という希望の中で、私たちに与えられるのです。そして、それが変えられていく過程の中に、聖霊の働きがあります。

その聖霊によって、私たちは、神様の御言葉を体現する者として生きることが出来るのです。

教会において御言葉を聞き続ける中で、神様が語られることを聞き、主イエスの十字架と復活の福音を知らされる中で、わたしたちにも一人ひとり、イエス様は名を呼んで出会って下さり、語りかけられます。

そして、見るべきものが見えず、神様に逆らい続けていた自分が、福音の光に打ち倒され、そこから主イエスの罪の赦しと、復活の恵みの中で、まったく新たな者として立ち上がらされるのです。そして、私たちも、なすべきことが与えられ、神に選ばれた器として、天におられるイエス様と共に、新しく歩み出すことが出来るのです。



静岡盲伝センターは、今年からテキストデイジーに取り組もうとしています。8月後半にセンター近郊の方々を対象に、講習会の開催も計画しております。当センターでは点字・音声のデジタル・データ化を進めています。テキストデイジーの製作ソフトは一台5万円します。製作ソフトやデータ保管のために費用負担も大きくなっています。この事業の維持・継続のために、運営に参加し支えていただけませんか。

【維持会員を募集しています】

一ヶ月100円から会員になっていただけます。

私たちは、神様が私たちに与えて下さいましたこの働きが、

これからもセンターの働きとして、共に継続、進展していけますように努めて行きます。

夏季休館日のお知らせ

8月10日(木)～8月20日(日)

図書案内

新音訳デイジー図書

1. 『アウグスブルク信仰告白』 メランヒトン著、3時間44分、2015年、リトン
2. 『あなたを強くする365日』 万代栄嗣著、14時間08分、1997年、日本伝道出版
3. 『天晴れ！ぶれなかった人たち』 熊田和子著、5時間12分、2016年、フォルストブックス
4. 『アンデルセンに聞く聖書の言葉』 田島靖則著、2時間07分、2015年、リトン
5. 『イエスと共に歩む生活』 井ノ川勝ほか著、4時間07分、2010年、日キ教団出版局
6. 『忙しい人を支える賢者のリズム』 ケン・シゲマツ著、8時間52分、2015年、いのち社
7. 『祈りから生まれるもの 新版』 佐藤彰著、4時間18分、2011年、いのち社
8. 『今この時 この祈り』 関茂著、1時間01分、1999年、教団出版
9. 『大川牧師のハット・ヒット・ホット』 大川従道著、4時間55分、2016年、

大和キリスト教会

10. 『風之都シカゴから』 加藤八重著、6時間25分、1999年、一粒社
11. 『がん哲学外来で処方箋を』 樋野興夫著、4時間30分、2016年、日キ教団出版局
12. 『クリスマスのりんご』 ルース・ソーヤー著、3時間22分、2012年、福音館書店
13. 『心あたたまる33のメッセージ』 梶日出男著、4時間15分、2007年、いのち社
14. 『ゴリアテごっこ 児童文学全集15』 藤原一生著、4時間47分、1984年、教文館
15. 『今日における聖書の語りかけ』 J・ストット著、3時間27分、1996年、いのち社
16. 『しあわせなモミの木』 シャーロット・ソロトウ著、32分、2008年、童話屋
17. 『The Ship 津波に打ち勝った少年の物語』 山中知義著、5時間57分、2013年、文芸社
18. 『静かな風』 片岡栄子著、1時間20分、2004年、いのち社
19. 『信仰生活の手引き 礼拝』 越川弘英著、5時間10分、2013年、日キ教団出版局
20. 『信じるヒント 9』 前川隆一著、3時間33分、2016年、一粒社
21. 『捨てること委ねること』 岸千年、1時間35分、1988年、聖文舎
22. 『聖書の教える金持ち父さん貧乏父さん50』 木下和好著、4時間45分、2016年、ヨベル
23. 『たましいのケア 増補改訂版』 藤井理恵・美和著、6時間28分、2009年、いのち社
24. 『たましいの慰め ころの余裕』 堀肇著、3時間25分、2015年、いのち社
25. 『てのひらの しあわせ』 湯川千恵子著、2時間45分、2014年、さんこう社
26. 『バルト神学の神髄』 喜田川信著、5時間21分、2015年、教文館
27. 『ビジネスを支える聖書の言葉』 出版部編、2時間8分、2009年、イーグレープ
28. 『ビジネスを支える聖書の言葉Ⅱ』 出版部編、2時間16分、2010年、イーグレープ
29. 『日々の祈り』 J・H・ジョエット著、2時間54分、2008年、日キ教団出版局

遡及デイジー図書

30. 『悪魔 古代から原始キリスト教まで』 J.B.ラッセル著、12時間15分、1984年、教文館

31. 『荒野に挑む』 糸川英夫著、3時間59分、1989年、ミルトス
32. 『アンデルセンの童話と信仰』 横山麗子著、3時間、1990年、いのち社
33. 『イエス運動の社会学』 G・タイセン著、7時間49分、1981年、ヨルダン社
34. 『イエス時代のユダヤ教』 J・ニューズナー著、5時間45分、1994年、教文館
35. 『イエスのたとえ話 やさしい聖書研究』 橋本昭夫著、1時間35分、1989年、聖文舎
36. 『イエスの七つの譬え 開かれた地平』 川島重成著、6時間30分、2000年、三陸書房
37. 『イエスを現代へ』 ウィリアム・パークレー著、2時間32分、1975年、日キ教団出版局
38. 『イエスを訪ねて』 本田栄一著、3時間32分、1995年、日本キリスト教団出版局
39. 『いのちといのちの出会い』 益巖著、4時間05分、1998年、新教出版社
40. 『驚くべきおとずれ 希望のイースター・メッセージ』 渡辺信夫ほか著、1時間34分、2003年、キリスト新聞社
41. 『教会 なぜそれほどまでに大切なのか』 フィリップ・ヤンシー著、3時間58分、2000年、いのち社発行
42. 『教会教義学 神論1・2・1 (神の言葉 神の啓示・中)』
カール・バルト著、吉永正義訳、17時間26分、1975年、新教出版社 (以下、著者・出版社は同じ)
43. 『教会教義学 神論2・1・1 (神の認識)』 27時間33分、1978年
44. 『教会教義学 創造論3・1・1 (創造の業・上)』 39時間18分、1984年
45. 『教会教義学 創造論3・1・2 (創造の業・下)』 12時間22分、1985年
46. 『教会教義学 創造論3・2・2 (造られたもの・中)』 27時間57分、1974年
47. 『教会教義学 創造論3・2・3 (造られたもの・下)』 26時間4分、1974年
48. 『教会教義学 創造論3・3・1 (創造者とその被造物・上)』 34時間25分、1985年
49. 『教会教義学 創造論3・4・1 (創造者なる神の戒め)』 13時間50分、1980年
50. 『教会教義学 創造論3・4・4 (創造者なる神の戒め 4)』 15時間29分、1981年
51. 『教会教義学 和解論4・1・2 (僕としての主イエス・キリスト上1)』
17時間26分、1986年
52. 『教会教義学 和解論4・1・4 (僕としての主イエス・キリスト下)』
14時間20分、
1987年
53. 『教会教義学 和解論4・2・1 (主としての僕イエス・キリスト上1)』
18時間16分、2001年
54. 『教会教義学 和解論4・2・2 (主としての僕イエス・キリスト上2)』
24時間02分、1986年
55. 『教会教義学 和解論4・2・3 (主としての僕イエス・キリスト中)』
25時間25分、2001年
56. 『教会教義学 和解論4・2・4 (主の僕としてのイエス・キリスト下)』
23時間18分、1987年、新教出版社

57. 『教会教義学 和解論4・1・3 (僕としての主イエス・キリスト中)』
34時間45分、2001年
58. 『教会教義学 和解論4・3・1 (真の証人イエス・キリスト上)』
19時間46分、1984年
59. 『教会生活案内1 教会に生きる』 楠本史郎著、3時間43分、2002年、日キ教団出版局
60. 『教会生活案内2 み言葉に聞く』 山崎英穂著、3時間47分、2002年、日キ教団出版局
61. 『基督教全史』 E・E・ケアンズ著、28時間25分、1962年、聖書図書刊行会
62. 『クラムボンの世界からキリストへの道』 木村百代著、5時間03分、1994年、
キリスト新聞社
63. 『クリスチャンではない夫を持つ女性たちへ』 神津喜代子著、1時間57分、2007年、
いのち社
64. 『現代聖書講解説教1 世の光キリスト』 森野善右衛門著、6時間、1979年、新教出版社
65. 『C・S・ルイスの世界』 竹野一雄著、14時間05分、1999年、彩流社
66. 『信じられない日の祈り』 石井錦一著、2時間41分、1992年、日本キリスト教団出版局
67. 『聖書の起源』 山形孝夫著、6時間10分、2011年、筑摩書房
68. 『生命への畏敬 シュヴァイツァー書簡集 1905-1965』 H・W・バール監修、19時間55分、
1993年、新教出版社
69. 『創造論の世界』 久保有政著、9時間34分、1999年、徳間書店出版
70. 『その名はただのペーター』 バルサザミットー著、4時間57分、1977年、いのち社
71. 『たましいを追い求めよ』 スポルジョン著、5時間12分、1991年、いのち社
72. 『ニカイア信条講解 キリストの精髓』 関川泰寛著、5時間47分、1995年、教文館
73. 『福音はとどいていますか』 藤木正三・工藤信夫著、5時間33分、1992年、ヨルダン社
74. 『もみの木の教会堂』 高木輝夫著、2時間22分、1975年、CLC 暮らしの光社
75. 『よくわかるキリスト教の教派』 徳善義和・今橋朗著、6時間13分、1996年、キリスト新聞社
76. 『礼拝と教会形成の神学』 近藤勝彦著、9時間19分、1988年、ヨルダン社

点訳図書

77. 『新聖書講解シリーズ新約4 ヨハネ福音書』 村上久著、4冊、1982年、いのち社
78. 『新聖書講解シリーズ新約12 ヨハネの黙示録』 久保田周著、4冊、1983年、いのち社
79. 『アンデルセンに聞く聖書の言葉』 田島靖則著、1冊、2015年、リトン
80. 『いのちに向かう道』 羽鳥明ほか、1冊、2016年、いのち社
81. 『祈りのみち』 八木重吉著、1冊、2015年、ドン・ボスコ社
82. 『驚くべきおとずれ』 渡辺信夫ほか、1冊、2003年、キリスト新聞社
83. 『神の狂おしいほどの愛』 エフドキーモフ著、3冊、1994年、新世社
84. 『教会生活案内3 キリストにある生』 後宮敬爾著、2冊、2002年、日キ教団出版局
85. 『「キリスト者の自由」を読む』 ルター研究所編著、2冊、2016年、リトン

86. 『暗い森を抜けて』 ダンテ著、2冊、2016年、教文館
 87. 『クリスマスのりんご』 ルース・ソーヤー著、2冊、2012年、福音館書店
 88. 『幸福論』 三谷隆正著、2冊、1992年、岩波書店
 89. 『この人を見よ ヨハネによる受難物語』 遠藤勝信著、3冊、2010年、いのちのことば社
 90. 『主はわが力 みことばと祈りの日々』 山崎順治著、11冊、1992年、いのち社
 91. 『主を知り、主を喜ぶ』 スター・ミード著、8冊、2015年、いのち社
 92. 『ジョン・バニヤンによる祈りの力』 ジョン・バニヤン著、2冊、2016年、いのち社
 93. 『信仰生活の手引き 聖書』 塩谷直也著、4冊、2012年、日キ教団出版局
 94. 『聖書の中の祈り』 大島力著、1冊、2016年、日キ教団出版局
 95. 『立ち上がれ！神の恵みに生きるために』 吉岡恵生著、4冊、2016年、キリスト新聞社
 96. 『小さな旅から見た聖書の世界』 門馬美恵子著、2冊、1997年、近代文芸
 97. 『てのひらのしあわせ』 湯川千恵子著、2冊、2014年、さんこう社
 98. 『Heaven's Gift もっと知りたいアロマの魅力』 矢島初穂著、1冊、2014年、フォルストブックス
 99. 『黙想 十字架上の七つの言葉』 加藤常昭著、2冊、2006年、教文館
 100. 『モルモン教とキリスト教』 ウィリアム・ウッド著、2冊、2013年、いのち社

会計報告 (2017年1月～5月) 皆様の尊いご献金で活動が支えられ、心より感謝いたします。

	費目	年間予算	1-5月合計	%
収	献金:諸教派	1,500,000	398,200	27
	献金:改革派	6,000,000	1,042,391	17
	献金:静岡教会	930,000	545,510	59
入	雑収入	50,000	4,307	
	繰り越し	250,658	250,658	
	収入合計	9,930,658	3,441,066	35
支	事業費	2,390,000	948,038	40
	対外協力費	165,000	78,700	48
	一般管理費	7,370,000	2,732,948	37
出	繰越	0	-318620	
	予備費(含基金)	5,658		
	支出合計	9,930,658	3,441,066	35

次号は2017年クリスマス号です。

製作：静岡キリスト教盲人伝道センター 〒422-8041 静岡市駿河区中田 1-5-21

TEL 054-285-0496 fax 054-285-0746 郵便振替 00870-2-7003

URL <http://www.dct7.net> メールアドレス shizumouden@dct7.net